

ARIBの動き

電波の日記念講演会が開催される

去る6月10日、社団法人電波産業会及び情報通信月間推進協議会主催、総務省後援による情報通信月間参加行事「電波の日記念講演会」が明治記念館「富士の間(1)」において開催されました。

本講演会では、「電波利用の現状と今後の展望」をメインテーマに、総務省総合通信基盤局 有富寛一郎局長から「基調講演 電波有効利用の推進について」、株式会社NTTドコモ 中村維夫代表取締役社長から「ユビキタス時代のモバイルビジネス」、モバイル放送株式会社 溝口哲也代表取締役社長から「モバイル放送が創る新しいライフスタイル」及び株式会社東芝 岡村 正取締役代表執行役社長から「映像が広げるユビキタス・ネットワーク社会」とそれぞれ題し、有意義なご講演を頂きました。

当日は雨にも拘わらず、会場は満席で補助席を出すほど盛会でした。各ご講演の内容は、後日ARIB機関誌「電波の日記念講演会特集号」に掲載いたしますのでご覧下さい。



会場の様子

ご講演いただいた方々



総務省総合通信基盤局
有富局長



(株)NTTドコモ
中村社長



モバイル放送(株)
溝口社長



(株)東芝
岡村社長

電気通信／放送 行政の動き

ユビキタスUWBセンサーネットワークテストベッドが開設される

独立行政法人情報通信研究機構（略称NICT）の横須賀無線通信研究センター（YRP1番館）にユビキタスUWBセンサーネットワークテストベッドが開設され、6月2日に記念式典が開催されました。

このテストベッドは、NICTがUWBに関する実験のために整備したもので、UWBテストルーム、UWB信号テストベッドなどを含んでいます。特にUWBテストルームは、実利用環境におけるUWB無線機器の伝搬特性測定、干渉評価、性能評価などを行うもので、天井から吊り下げた三次元ポジショナーを用い室内における無線システムの動作特性を空間的に測定することが可能です。

NICTは同テストベッドの空き時間を利用した共同実験の提案を随時受け付けています。

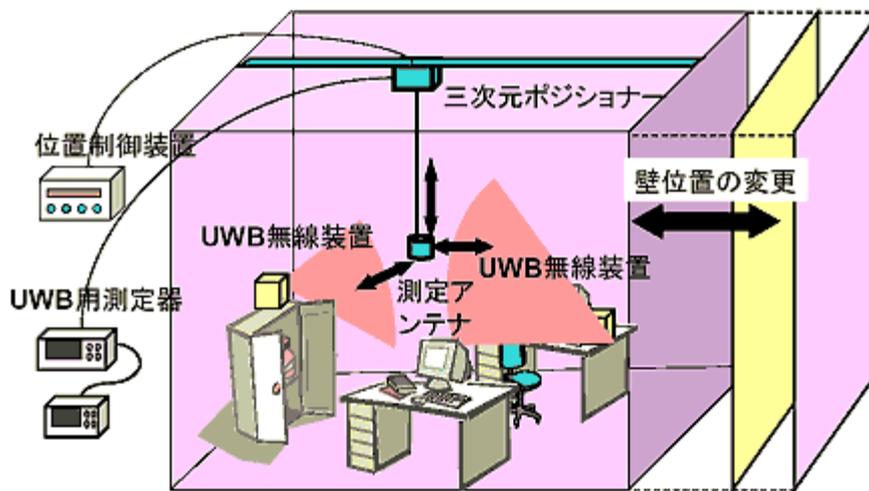
問い合わせ先：

NICT横須賀無線通信研究センター（電話046-847-5107 安井、西山）

または YRP研究開発推進フォーラム（電話046-847-5040 西山）



記念式典の様子(筒状のものが三次元ポジショナー)



UWBテストルーム概要図

総務省・東大の共催シンポジウムのご案内

東京大学大学院情報学環・学際情報学府学際情報学専攻
 21世紀COE「次世代ユビキタス情報社会基盤の形成」第七回シンポジウム
 ユビキタス情報社会を支える技術・政策・産業～u-Japanを目指して～

■ 開催要項

日時： 平成17年6月29日(水) 14:00～17:30

会場： 東京大学大講堂(安田講堂)

場所： 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
 東京大学本郷キャンパス

主催： 東京大学大学院 情報学環・学際情報学府学際情報学専攻
 総務省

入場： 無料

URL： <http://www.ubinsoc.org/>

■ プログラム (予定)

13:30 受付開始

14:00 開会挨拶

浜田 純一・東京大学・副学長・理事

高原 耕三・総務省総務審議官

14:15 基調講演：「ユビキタスコンピューティング技術とユビキタス情報社会の実現にむけて」

坂村 健・ 東京大学大学院 情報学環・副学環長・教授

東京大学 21世紀COE「次世代ユビキタス情報社会基盤の形成」拠点リーダー

15:15 講演：「u-Japan政策の実現に向けた研究開発の推進」

鬼頭 達男・ 総務省技術総括審議官

15:45 休憩

16:00 パネルセッション「ユビキタスネットワーク社会の実現にむけて」

道傳 愛子・ 世界情報社会サミット(W SIS)親善大使・NHKチーフアナウンサー

飯塚 久夫・ 株式会社NTTコミュニケーションズ・常務取締役
先端IPアーキテクチャセンタ所長

鬼頭 達男・ 総務省技術総括審議官

寺崎 明・ 独立行政法人情報通信研究機構・理事

須藤 修・ 東京大学大学院情報学環・教授

坂村 健・ 東京大学大学院情報学環・教授

17:20 閉会挨拶

■ お申し込み方法

詳細は<<http://www.ubinsoc.org/>>を参照下さい。

欧州電気通信／
放送の動き

携帯テレビの実現に多くの障害

【Les Echos,2005/05/16】

携帯テレビに関し、ダニエル・ブデ・ド・モンプレジール氏に作成が依頼されていた報告書が5月16日、ラファラン首相に提出された模様。報告書では、欧州規格DVB-Hあるいは韓国規格DMBのどちらを利用すべきかに関しても、どの周波数帯域を利用すべきかに関しても、明確な指針を与えていないとされ

る。また、実地テストの許可件数に関しても、CSA（仏視聴覚最高評議会）に決定を一任している模様。

なお、TF1やカナル・プリュス、M6などが携帯テレビで放送するには、現在¹事業者が所有できるチャンネル数を最大7局としている上限に関して、視聴覚法の改正が必要となる。

編集後記

ARIB赴任時から割り切って、夏はノーネクタイ、ノー上着を実践していたところ、今年は政府が「クールビズ」を導入。やっと時代が私に追いついた（？）と納得しています。某新聞紙上で有識者の「ノーネクタイ・ノー上着で個性も自信もないおじさんになっていいの？」なる声もありましたが、まだまだクールビズ実行者は少数派です。それにしても、クールビズ賛同者からすると、JR東日本の通勤列車は寒すぎます。クールビズに合わせた温度設定にすれば、賛同者の増加は間違いないと思いますが、如何でしょうか（本日JR東日本に投書してみました）。

(K.K)